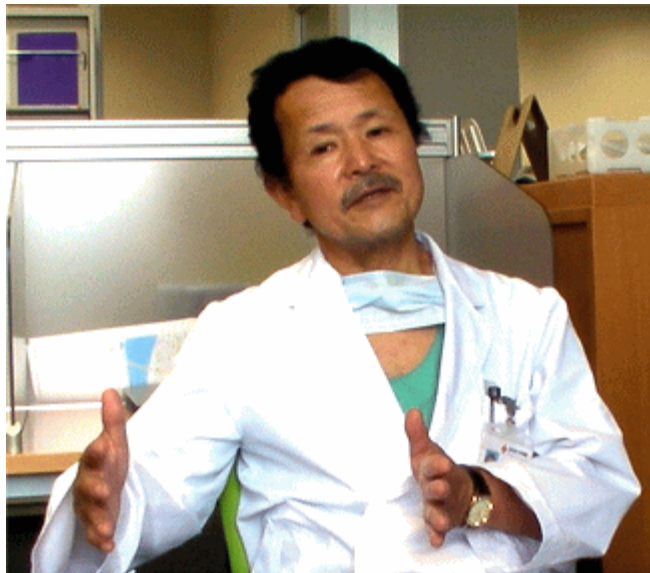


救護第23班 5月1日～5月8日 医師・鈴木 隆雄



次の班が入ってきて申し送りをしているときにノロウイルスが発生。食中毒とわかった時点で地元の保健所が入り、われわれの行動経路も含め消毒していきました。食中毒が発生したため次の班で終わる予定だった鳴瀬の診療所活動を早めに終わらせることになりました。



発症するまでの期間、現地で救護活動を行っていたので、診断が出るまでの数日間は、避難所でも発生するのではないかと心配していましたが、幸い感染はなかったようです。また巡回診療は週1～2日なので支障はありませんでした。食べるものの中にあるものは防ぎようがないけれど、普段から手洗いを励行することでウイルスの運搬は避けられます。

我々の役目は鳴瀬の活動終息へ向けてどう評価するかと、牡鹿半島での新たな活動を開始することでしたが、次の班への申し送りを十分にできなかったのが心残りです。食中毒のおかげで動きがとれず、チェックした部分を現場から離れて伝えるしかなく、歯がゆい思いが残っています。